



令和7年10月21日

各 位

静岡県芦湖水利組合事務局
(裾野市役所総務課内)

箱根神社講社祭初穂料の奉納について（お願い）

本組合の運営につきましては、常々ご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、皆様ご承知のとおり、私たちの郷土を潤す深良用水の源である芦ノ湖は、その昔、箱根権現（箱根神社）の御手洗の池とされておりました。

350有余年前、深良村の名主「大庭源之丞」の要請に基づき「友野与右衛門」等元締たちは、深良用水開削を箱根権現へ出願しました。時の僧正は、この計画の必要性を理解し承諾してくださっただけでなく、工事の許可を洩る幕府に対して3年間にわたり説得を続けてくださり、このおかげで、ようやく工事の許可が下りることとなりました。

現在、芦ノ湖の水は深良用水を通して年間約5,000万トンも流れ、農業用水のみならず、生活用水・防火用水として重要な役割を担っております。

私たちの祖先は、深良用水の完成以来今日まで、箱根神社に対する感謝の意を表す意味で毎年2回初穂料を奉納して参りました。また、箱根神社も用水関係者に対し、毎年1月と8月の2回講社祭を斎行しております。

以上、箱根神社初穂料の趣旨をご理解のうえ、ご奉納（任意）いただきますようお願いいたします。

記

1. 初 穂 料 1口 300円以上
各区(組・班)により取りまとめ方法が異なっております。区長(組長・班長)様を通じてご奉納ください。(市役所に12月11日まで)
2. 講 社 祭 令和8年1月4日(日) 午後1時30分から
箱根神社本殿で斎行されます。
3. お札の配布 ご奉納いただいた方には、後日、箱根神社講社祭で祈祷いただいたお札を、各区を通じてお配りいたします。

芦湖水利組合事務局（総務課内） 995-1807

世界かんがい施設遺産「深良用水」について

芦ノ湖の湖水を駿東地域に導水するため、箱根外輪山湖尻峠下を掘り抜いた用水路です。

江戸時代に造成された用水路は、2020年4月で通水350周年を迎え、御殿場市・裾野市・長泉町・清水町の2市2町の農業用水として、現在も欠くことのできない存在として地域を潤し続けている生きた遺産です。

農業用水である一方、常に一定の水量を得られることから水力発電にも適し、張り巡らされた水路により防火用水・生活用水等、住民の身近な存在としても利用されている地域の宝物です。

芦ノ湖の深良水門（水の入口）



水路トンネルは出入口の両側からノミを使った手掘りで1,280mを掘り抜いており、正確な掘り抜き合流から、奇跡の工事と言われています。



水掛かり地の田園風景



選奨土木遺産 銘板
深良用水隧道は日本土木学会により
選奨土木遺産として認定されています
(令和5年9月 認定)

日本国内で登録されている47施設（2022年10月時点）のうち、最初に登録された国内9施設の一つが深良用水です。

令和5年9月25日には、歴史的な土木構造物として土木学会の選奨土木遺産に認定されました。